

資料紹介

正倉院事務所所蔵『正倉院御物目録 十二(未修古文書目録)(一)』

飯田剛彦

本稿は『正倉院年報』第二十三号に掲載した、『正倉院御物目録 十二(未修古文書目録)』(一)に続くものである。本号では、(一)として第二十一号櫃に関する記載から始まる部分を翻刻する。内容・体裁等に関しては(一)の例言を参照されたい。

405	一	題師一人云々 「天平勝宝五年十二月十日」	一枚		
404	一	東大寺写一切経所解 「申請経師等布施事」	三枚		
403	一	写経所解 「并写書所解 一 申請経師等布施事 二 一 写書所同断 一」	三枚		
402	一	謹解 申校経之数事	六枚		
401	一	破片紙	一枚		
400	一	敬請奉无量義経云々	一枚		
399	一	奉請経合一百九卷云々 「天平勝宝三年三月十三日」	一枚		
398	一	十部観世音経充墨	一枚		
414	一	下綿辛櫃等之解 「卅口下綿志任漆拾貳屯」	一枚		
413	一	解申売却綿并祖布 「天平宝字六年十二月残破」	一枚		
412	一	奉送菩薩 <small>ニ</small> 疏五卷云々	一枚		
411	一	充紙帳 「十四年二月五日受黄紙」	一枚		
410	一	造石山院解 「申七月上日事」	一枚		
409	一	装潢帳 天平勝宝五年九月 「五人写常疏」	一枚		
408	一	奉写御執経所返抄 天平宝字八年「十二月」	一枚		
407	一	七御櫃	一枚		
406	一	昨日 <small>「智」</small> 請知云々	一枚		
415	一	写書所解 天平勝宝三年八月十六日 「申請海龍王経々師等布施事」	二枚		
416	一	納軸帳 「廿一年二月廿九日 納軸云々」	一枚		
417	一	大仏頂尊勝陀羅尼経云々	一枚		
418	一	岡本家解 申本経請事 「残欠」	一枚		
419	一	写経目録 「大般若波羅密多経」	一枚		
420	一	写経所解 「申請経師等浄衣并布施事」	一枚		
421	一	東大寺写経所解 申請浄衣料純綿等事 (「衣料」紙片貼込により「衣事」を訂正)	一枚		

P 40 (途中から)

第廿七号 八卷 三括 巻帙

右四通巻括

右十三通巻括

491	「為」 西宮一切経今可写加経	一枚	508	一片紙	一枚	七十枚
492	阿闍梨人写経五卷	三枚		右巻括		
493	法鏡下巻	一枚				
494	陽胡穂足解 「申請筆事」	一枚	509	第二十六号 七巻 一括 巻帙	一枚	四枚
495	造東大寺司牒岡院本	一枚	510	奉写一切経所解 申請用銭事	一枚	四枚
	(「院」と「本」との転倒を鉛筆書きで指示)			已上六十四物前机二具料		六枚
496	奉請内裏 「最勝王経一部」	一枚	511	錯作露盤六盤云々 天平宝字六年三月	一枚	五枚
497	東大寺令奉請経	一枚	512	三嶋県主百兄謹解 天平宝字五年正月 「請暇日事」	一枚	十九枚
	右十九通巻括					
498	敬申写一切経司	一枚	513	合応用浄衣雑物	一枚	一枚
499	合請銭壹佰廿捌貫貳佰伍拾	一枚	514	経軸二柄 画一ノ不画一 九月廿五日	一枚	一枚
500	奉写一切経所解 「申可去二月 養火頭等事」	一枚	515	合経囊壹佰上 「口」 右三通巻括 四年三月	一枚	一枚
501	大宝積経壹部百廿巻	一枚	516	大仏殿廂絵画師等云々 天平宝字三年三月	一枚	三枚
502	充装演疏事	一枚				
503	生菜直銭二文	一枚	517	画師四十日秦宮足 天平宝字四年十月	一枚	一枚
504	合大小乗論漆拾陸部	一枚		(「四十日」を鉛筆書きの波線で囲む)		
505	食法	一枚	518	左方須理肆佰捌枚 天平宝字二年三月	一枚	一枚
506	写書所解 「申可奉写経用度事」	一枚	519	左方蓮華枚二百二拾肆枚 天平宝字六年	一枚	一枚
507	「符山作領所等可停止作物事」 謹啓	一枚		右四通巻括		
	右十通巻括		520	写疏所解 申応請紙事	一枚	三枚
			521	奉写一切経所解 申可請四月料仕丁事	一枚	十三枚

555 一 「依」
右佐次官大蔵伊美吉 天平勝宝九年
「四」(534 } 555 にかかる)

右廿一通巻括

556 一 田辺道主謹解 申助仕奉一切経事

557 一 造物所 鎌吉口 天平宝字六年三月一日

558 一 造物所 末醬巻^(マヅマキ)解^(トキ)譯^(トキ)升^(トキ)伍^(トキ)合^(トキ)云々

559 一 「卷」
「廿一日」五局百廿一枚

560 一 大般若経「初百卷奉請纏索堂」云々

561 一 秦角万呂

「五」(556 } 561 にかかる)

右六通巻括

562 一 石田部嶋足解

563 一 合論并疏参拾肆巻 天平勝宝五年九月

564 一 用経紙并表紙事 天平勝宝二年四月十三日

565 一 納本経櫃盛文 天平廿年九月廿三日

566 一 小乗律

「六」(562 } 566 にかかる)

右五通巻括

567 一 大部浜足解 申請筆事

二枚

568 一 自天平十三年十月七日至十二月七日千手経々師装演校生手実書
「七」(567・568 にかかる)

同 廿五枚

569 一 觀自在菩薩云々

570 一 最勝王経一部云々

571 一 六人部身万呂解

572 一 随求即得陀羅尼

573 一 写書所解 申請心奉写経用度事

574 一 東寺写経所解 「申請経師等布施物事」

575 一 「八」(569 } 575 にかかる)
下銭帳 「長万呂写一部銭八百八十五文」

右七通巻括

576 一 能登忍人

577 一 謹啓 申奉請花嚴経事

(「奉請」は紙片貼込により「請奉」を訂正)

578 一 装演等紙送進帳

579 一 合彩色料十三種

580 一 廿七下銭巻百玖拾陸文

581 一 石山院

582 一 寺牒写経司

583 一 「九」(576 } 583 にかかる)
安宿宮奉請本経三巻云々

巻巻 拾參枚

右八通巻括

P 57

一枚

P 58

584	一	充筆帳 「酒波家麻呂解申請筆事」	「七」	第廿八號	十卷 六括 壹帙	壹卷 三百四十枚
585	一	一切経散帳案 天平勝宝元年ノ記アリ	「二」			同 三枚
586	一	写経司解 申装潢功事				四枚
587	一	合依開元目錄応写一切経云々	「三」			一枚
		(586・587にかかると)				
		右二通壹括				
588	一	充紙帳注二田辺当成解卷首 申 勘宮一切経事	「四」			壹卷 三十四枚
		(「田辺当成解」と「卷首」との転倒を鉛筆書きにて指示)				
589	一	自五月一日至廿日一切経手実書	「五」			同 十枚
590	一	千部用仁王疏反上				一枚
		(「反」は紙片貼込により「返」を訂正)				
591	一	校紙四百六十九張 六月五日 「村山首万呂云々」				一枚
592	一	布施充帳 「錦部大名」				一枚
593	一	山部花受写経云々 天平十八年閏九月廿六日	「六」			三枚
		(590・593にかかると)				
		右四通壹括				
601	一	以前密 ^(マツ) 迎力士 ^(マツ) 経				一枚
600	一	謹啓 奉請経并疏事				一枚
599	一	謹解 申写用紙事 「安部音人」 ^(マツ)				一枚
598	一	子部多夜須「解」 天平十八年九月廿一日				二枚
597	一	蘭部広公謹解 申宮一切経造事 「一」申造一切経事 「一」				二枚
596	一	造東寺 ^(マツ) 写経所 ^(マツ) 解 申請心奉写経用度「事」	「九」			同 五枚
595	一	間写六十花厳経廿一部手実卷第一 天平廿年四月廿九日	「八」			同 十三枚
594	一	千部法華手実 天平二十年三月廿八日	「七」			壹卷 十一枚
605	一	仁王経十部廿卷 三月二十一日				一枚
606	一	下道主解 申奉校観世音経	「十」			二枚
		(597・606にかかると)				
		右十通壹括				
604	一	能登 ^(マツ) 君 ^(マツ) 人 ^(マツ) 解 申造紙事				一枚
603	一	奉請御櫃十四合				一枚
602	一	廿日下銭三丈五尺 天平神護元年三月廿四日				一枚
		(「密」は紙片貼込により「蜜」を訂正)				
607	一	充紙帳 「別二白紙続」				九枚
608	一	食口案 「経師卅五人装潢四人」				七枚

(三三三)

638	一	謹解	申写紙数事	「大伴広国」	一枚
639	一	奉写一切経所解	申込給「経」師等布施物事		一枚
640	一	八檀	「七」「五」「廿一」 天平十九年八月十八日		二枚
641	一	牒写経所	裏奉写一切経所解 申六月告朔事		二枚
642	一	「経」 写後所解	申請筆墨事 「合筆箇墨一挺」		二枚
643	一	写書所解	申三月食口帳		一枚
644	一	造東大寺司移奉写一切経司			一枚
645	一	造東大寺司牒	平撰大徳「房」下		二枚
646	一	四檀	「天平十七年五月廿一日」 勝宝二年二月十四日		P 65 三枚
647	一	写書所解	申請布施事		一枚
648	一	庶思有短褐之	天平十八年正月七日		三枚
649	一	残一百册九口	宝龜四年八月廿九日		三枚
650	一	〃〃	申校奉一切経事		一枚
651	一	白木籤二千六百九十二枚	天平勝宝五年四月十六日		三枚
		(二)	右十八通志括		
		(三)			
652	一	瑜伽師地論一百局	「卷」 天平勝宝三年九月廿日	壹卷	十一枚
653	一	造東大寺司移奉写一切経司	神護景雲二年	同	十四枚
654	一	秦乙公百	主典「安部宿禰」		二枚
655	一	石山院奉写大般若経所解	申進返仕丁等事		一枚
656	一	〃〃大寺司移奉写一切経司	景雲二年九月廿六日		二枚
657	一	大寺牒	「涅槃経疏」 天平三年九月一日		一枚
658	一	理趣経	天平十四年十一月十五日		片紙
659	一	東大寺司移御執経所	天平神護三年六月十八日「大小乘経論六十一卷」		一枚
660	一	宝龜二年	案主上馬養味酒 「閏三月廿二日云々」		一枚
661	一	皇后宮職移中務省	天平七年八月十一日		片紙
662	一	写書所解	申五月食口事		一枚
663	一	造東寺司牒	天平勝宝三年三月廿五日「大安寺玄智大徳房下」残欠		一枚
664	一	海松参斗	主典阿都宿		一枚
665	一	九月三日収納米拾斛			一枚
666	一	謹解	申用紙事 天平宝字七年五月六日		二枚
667	一	案主吉人舎人三人			「三」 二枚
		(五)	右十四通志括		
668	一	尾張張人写経	天平七年十二月七日	壹卷	十三枚
669	一	忍海広次写	十七年十二月手実	同	廿二枚
670	一	大友路万呂解	申請筆事	同	五十一枚
671	一	建部広足	六月十一日「請写大乘起信論卷」	同	十九枚

672	一	充紙帳	「安部日人」	一ノ石坂	一	二卷	五十二枚
673	一	下銭帳	「弥勒菩薩所写本願經一卷」			壹卷	十六枚
674	一	「漆櫃」	不空羼索心呪王經二卷中下	天平十年八月十七日		一枚	
675	一	總可蔵經		天平十五年七月廿三日		一枚	
676	一	造講堂院所解		申天平勝宝七歲考中行事事		一枚	
677	一	奉請勝鬘經一卷		天平勝宝五年十二月廿日		一枚	
678	一	写經所解		申請千部布施事		一枚	
679	一	經所雜物見	「不了」			一枚	
			（「見」を鉛筆書きの波線で囲む）			P 68	
680	一	七月十九日經師廿人				一枚	
681	一	賀陽田主解	写奉救護經事			三枚	
682	一	大友広国謹解	申写用紙事			一枚	
683	一	高椅乙 <small>「万呂」</small> 六百八十四張		六月二日		一枚	
684	一	爪工家万呂解	申写紙事			一枚	
685	一	忍海広次筆	「爪工家万呂筆云々」			片紙	
686	一	第四御櫃	「册三部 三百十三卷」	三年七月廿七日		一枚	
			「十二」（674、686にかかると）				
			右十三通言括				
687	一	片紙				廿枚	
			右壹括				
688	一	充紙帳注	「三三年十月十四日胡桃紙云々」			壹卷	「六」 八枚
689	一	猪脂斗壹升参合		十六年十一月十七日		同	七枚
690	一	造東寺司牒	元興寺曉仁大徳房下			同	四枚
691	一	写書所解		申六月食口事		同	二枚
692	一	食口案		裏宝龜五年九月十九日		同	十枚
693	一	充紙帳	吳原生人 上馬甘	「十二日納標紙卅二張」		同	十四枚
694	一	東大寺合奉写陀羅尼	天平宝字四年十月	「廿卷裏表題随求壇所文」		同	二枚
695	一	中室首清人解		申八月行事		一枚	
696	一	写經司啓	天平十一年二月十三日	「合依開元目錄写一切經云々」		一枚	
697	一	可奉写經二部	「梵網經一部二卷」	天平勝宝三年十二月廿七日		一枚	
698	一	秦吉曆解		申不参「伺」事		一枚	
699	一	淨清所	天平勝宝二年七月廿二日	「進漬菜一庄」		P 70	片紙
			「八」（695、699にかかると）				
			右五通言括				
700	一	十八年二月受仁王經「云々」		天平廿年二月二日		壹卷	八枚
			「九」				

701	一	食口帳	「塩壹升酢糟五合」	同	九枚	718	一	俱舍論一部	天平「勝」宝龜五年八月廿六日	一枚
702	一	充紙帳		同	十二枚			右拾參通志括		
703	一	上帙帳	「念林老人」	同	五枚	719	一	「諸」 坂上請人解	申上帙事	一枚
704	一	六十華嚴裝等	「十二」(「感」は紙片貼込により「勝」を訂正)	同	八枚	720	一	大雲「請雨經」一卷		一枚
705	一	職工帳	「廿二匹因幡繩」	同	十二枚	721	一	充紙帳	「棕主卅九云々」	一枚
						722	一	音太郎野上解	申上写畢帙事	一枚
						723	一	西花苑	「合練金二百両」	一枚
						724	一	元興寺三綱牒	返抄之事	一枚
						725	一	右自田上山云々	主典安都宿祿	一枚
						726	一	写經上事		一枚
						727	一	達沙牛甘	天平感宝元年四月廿七日	一枚
						728	一	秦磯上解	申上写畢卷事	一枚
						729	一	高市老人	「写紙百六十六張」	一枚
						730	一	大原史長「額」	天平十四年十一月十五日	一枚
						731	一	八日下錢帳拾文	右讀藁十困直	一枚
								右十二通志括		
706	一	始天平十四年二月五日	至三月廿九日写經	「合貳百九十六卷」	一枚	732	一	謹解	申進上用紙事	「秦有磯」
707	一	廿枚繼二百八十六卷	天平感宝元年五月七日「檢校」	一枚		733	一	東大寺写書所	「合折留布施云々」	一枚
708	一	石山院「申解削息事」		一枚		734	一	天平勝宝九歳二月十日奉返云々	「一月四日奉請大小乘云々」	一枚
709	一	以奉廿年二月廿七日筆一受		一枚						
710	一	充筆帳	「錢五百五十三文」	一枚						
711	一	撰大乘无性菩薩积論疏		一枚						
712	一	左方頭等解	申失物事	一枚						
713	一	摩訶摩耶經	天平感宝元年五月一日	一枚						
714	一	符写經所	「古毛二箇」	一枚						
715	一	矢作真足	潤十二月上日	一枚						
716	一	物部足国解	申造紙事	一枚						
717	一	受波和良紙	「四千九百十一張」	一枚						

735	一人料絶一疋	片紙		
736	謹啓奉請金剛三昧経	片紙		
737	造東大寺務所「彼常住書生歴名」 天平廿年七月十日	片紙		
738	甲櫃「大乘経四百四十八卷又十卷云々」 天平十三年三月十二日	片紙		
739	仁王経散帳「仁王経一部二卷」	片紙		
740	装演等解 申造物事	片紙		
741	民毛麻呂写疏合二卷 天平十八年潤九月	片紙		
右拾通巻括				
742	充紙帳「始受紙四千三百六十張」	一枚	P 74	
743	一切経目錄「十九卷」 天平八年九月廿九日	一枚		
744	滑海「藻」 「仏聖」二函	一枚		
745	霉爛零紙	十七		
(「霉爛」を鉛筆書きの波線により囲む)				
746	広田連清足謹解 申請暇日事	一枚		
747	韓櫃一合	一枚		
748	充紙帳「紙下四年正月」	一枚		
749	作上猪足一隻	一枚		
750	納最勝遺紙彦任彦伯伍什漆張	一枚		
751	写後経所解 申請筆七箇墨三廷	一枚		
752	以天平勝宝三年四月七日云々	一枚		
753	梵網経册卷 二月六日	一枚	P 75	
右十二通巻括				
754	写唯識論疏一十五巻	一枚		
755	水主解 用紙事	一枚		
756	進上米五斗六升	一枚		
(754、756の「一枚」紙片貼込により「片紙」を訂正)				
757	写後書解 請筆 「高市老人」	片紙		
758	写後書所 請筆「六墨」 「達沙牛甘」	片紙		
759	阿曇広万呂 写紙四百枚	片紙		
760	古手写六卷鈔合二巻	片紙		
761	秦太草奉写経合廿五巻	片紙		
762	十二門論疏上局「用」册七枚	片紙		
右九通巻括				
763	写後書所 天平十九年十月十九日	二枚		
764	奉写一切経所解 申折留経師等布施料/布事	一枚	P 76	
765	秦有磯解 申用紙進上事	一枚		
766	唯識論二部 「二十巻」	一枚		
767	僧上所 「請経合四巻」	一枚		
768	写経司 奉請本経事	一枚		
769	卅巻未取犯仍為一帙	一枚		
770	仁王経疏 「大伴名」	一枚		
771	奉返「請楞伽経之事」 天平勝宝二年十二月廿六日	一枚		
772	米伍斗 「塩二升」	一枚		
773	廿五日下午食料合拾陸種	一枚		

774	一	千手千眼并新羅索薬師経料食糧雜物納帳	天平宝字二年	一枚	(「撰」判読困難の故か、四角で囲んだ中に原本の筆跡を模して記す)
775	一	写経舍人等閏七月上日	天平十年閏七月廿九日	二枚	790 一 写経所解 「因明正理論云々」
776	一	小野固方 <small>「国」</small> 裏式部大丞大伴大甘		十三枚	791 一 写書所解 「申六月上日事」
		右十四通巻括		P 77	792 一 奴婢断簡 「婢都牟志女年三十」
777	一	法華経四部 「坂合」	天平十四年二月卅日	十枚	793 一 依良弁大德天平勝宝三年四月四「日」宣「定」云々
778	一	大般若経二百卷云々	「納漆辛櫃一合」	一枚	794 一 充墨帳 「第一紙」 「三島子公解申請墨事」
779	一	写経所解	申請筆墨事	五枚	右七点巻括
780	一	大般若波羅密多経	「第五帙用紙一百云々」	十一枚	795 一 片紙
		右四通巻括			右巻括
781	一	秦秋庭造紙		三枚	796 一 充筆墨紙帳 表題 僧正弥勒経料充紙并筆墨「紙」出納帳
782	一	合充筆墨「事」		二枚	「第卅二号 八巻 六括 巻括」 「天平十六年三月十四日始」
783	一	謹啓	請書事	一枚	797 一 余馬甘写疏 「贊論品第三巻」
784	一	五生又万呂	天平八年十二月十九日	一枚	798 一 合三千六百巻
785	一	十一櫃	四月十七日返納了	一枚	799 一 造東大寺司「牒」 「山階寺三綱務」
786	一	古市浄人	天平勝宝五年五月八日	一枚	800 一 第五御櫃 「卅三部」百八十六巻
787	一	目代国造豊足謹解	「左大臣家稅事」	一枚	801 一 合十三人
		右七通巻括			「文部省」 「造東大寺司」 「(797)801にかかると」
788	一	東大寺装潢所	「進送紙合六拾五巻」	一枚	右五通巻括
789	一	写一切経所牒	「平撰大徳之所」	一枚	

- 802 一 謹解 申写用紙事 天平十八年潤九月十八日 六行 P 80
- 『甲』
- 803 一 奉写疏六十一卷 九行 「用紙」
『乙』
- 『布施帳断簡』
- 804 一 麦志斗 二百冊文 七行
『乙』
- 『雑用帳残簡』
- 805 一 校生等般若用紙帳者 廿五行 紙一枚
『甲』
- 『裝潢帳断簡』
- 806 一 弓削塩麻呂 「賀茂馬養」 三行 紙一枚
『乙』
- 807 一 進送銭事 「合肆拾帳四百五十文」 六行 一枚
『甲』 背雇人功并食用銭一千五百四十文 天平勝宝三年十一月廿八日 行数九
- 『経巻出納帳』
- 808 一 『自』天平勝宝元年十二月廿二日『至』二年八月九日『出』法花疏二部云々
『甲』 『外六』
廿六行 紙三枚 三枚
- 『充紙帳断簡』
- 809 一 「廿九日」六十華嚴經初帙 十卷 十六行 紙一枚
『乙』 『自』廿九日『至』十月三日 上馬廿
- 810 一 充裝潢所 天平廿年三月十八日 四行 紙一枚
『乙』 『請紙一百五十一張半』
- 『裝潢手実』
- 811 一 文部曾祢万呂解 造紙事 天平勝宝二年七月十八日 五行 紙一枚
『乙』
- 812 一 牒 華嚴院 『麻紙六卷外三件』 元年潤五月廿八日 七行 一枚
『甲』
- 813 一 十二月十五日説梵網經一部 七行 一枚
『乙』
- 『経充帳』
- 814 一 經生人名首云忍坂友依 「福用理大成」 十行 一枚
『乙』
- 815 一 安宿豊前謹頓首 十行 一枚 「断爛」
『丁』
- （「通」は紙片貼込により「枚」を訂正）
右十四通志括
- 『前断簡』
- 816 一 用紙牒首云意原人磨謹解 天平十九年六月廿八日 七
『乙』 「写用紙并四百八十」張之中
（「八日」は紙片貼込により「七八日」を訂正。右傍「七」はその後の追記）
- 817 一 同高市老人写用紙 天平十八年潤九月 同 十七枚
『乙』 「并三百拾六枚」
- 『同』
- 818 一 『同』写角惠磨經合廿八卷 天平十九年『自』九月『至』十二月 同 三十枚
『乙』 「用紙云々」
- 819 一 寺牒 經官政所 天平勝宝三年十月八日付僧徳仙 二枚
- 820 一 寺牒 写経司 「請六門陀羅尼經事」 一枚
- 821 一 奉写経所請 九月十一日 「橡純云々」 一枚
- 822 一 写所解 申請浄衣并筆墨立事 「直」 一枚
- 823 一 他田建足 三枚
『七』 共にかかると

右五通巻括

824	大安寺三綱牒東大寺務所 『天平勝宝九歳七月廿日』	一枚	P 82
『甲』			
825	供養瓜料 『分』	一枚	
『丁』	四年三月九日		
826	私法花経料紙収納帳 天平十五年八月四日以来	一枚	
『甲』	(「十五年」は紙片貼込により「十四年」を訂正)		
『充筆墨帳』			
827	以天平十九年十二月五日云々 墨一廷受	片紙	
『乙』			
828	増一阿含五帙『十卷』 筆墨充帳『表裏』	片紙	
『乙』			
829	謹啓 請画師事	片紙	
『丁』			
830	牒 上案主 『経仏像早速云々』 『二月廿八日』	片紙	
『丁』			
	(「経仏像早速云々」は朱筆同文の上に紙片を貼込み、崩れた字体で再記する)		
『食口帳断簡』			
831	題経一千五百卷 「千部法花経之内」	一枚	
『乙』			
832	牒経所案主 『送度軸端十四枚/四月八日』	一枚	
『丁』	『背云/小野大夫所作軸云々 四年/四月八日』		
『充紙帳』			
833	天平十五年三月廿三日受一切経	一枚	
『甲』			

右十通巻括

834	東寺律衆解 申経律論抄疏布施法事「今経若干」	一卷	P 83
『乙』			
『未断簡』			
835	用紙帳首云物部人曆 奉写経一部/天平廿『一』年二月	同	
『甲』			
『正』			
836	墨手実 『宝龜』四年二月	同	
『乙』			
往來			
837	写疏所解 請経師等布施物事 天平廿『二』年十二月廿日 「裏題」	同	
『完』			
『甲』			
	(「完」は『甲』の上方に記載されるも、どの範囲にかかるかは分明ならず)		
『経巻納記』			
838	納新写櫃盛文 「第四櫃」	一枚	
『甲』			
『食口帳断簡』			
839	自十七日下米吉石七斗 佐伯里足	一枚	
『乙』	至十九日		
『裝潢充紙』			
840	春日虫麻呂解 造間疏用紙事 天平勝宝三年十月廿二日	一枚	
『乙』			
右三通巻括			
841	充紙帳裏云 『梟犬養宿祢大岡 天平十四年十一月十五日』	一枚	
『乙』	『背充紙帳自天平十八年正月廿七日至同二月十六日』		

- 842 一 金剛般若経師等筆墨直充帳 二年九月十五日
『乙』 「土師弟万呂七十文辛国千村七十文」
(当該文書を徴するに、「弟万呂」は「乙主」の誤りか)
『経巻奉請案』
- 843 一 奉請内裏 天平二十年九月廿二日
『甲』 「合拾部四十参巻」
- 『経巻奉請案』
- 844 一 借奉請経 天平勝宝三年八月三日
『乙』 「唯摩詰経十巻」
- 845 一 写書所解 申六月食口事 天平勝宝五年『六月』廿日
『乙』 背二仁王経々師等布施物事 天平勝宝五年五月九日
- 846 一 部法花経染造帳 天平廿年二月廿四日
『甲』 「」を朱筆にて四角に囲む)
『布施帳』
- 847 一 裝潢帳 天平勝宝六年十一月十二日 「四端二丈六尺裝潢料」
『乙』 背写書所解 申壇法所食口事 天平勝宝八歳七月廿日
- 「十四」(841)847にかかると
右七通巻括反古十二枚添 『乙七枚/丁五枚』
- 『乙』
- 848 内華殿用紙帳断簡 一枚 854 勘大和水通 一枚
849 新米一斗七月廿六日 一枚
850 校帳断片 一枚
851 同十九年十二月十七日 一枚
852 同 " 十一月 一枚
853 同 一枚
- (以下848、854は朱筆にて挿入)
- 855 一 造東大寺司移及牒 奉写一切経司移
第三十三号 六巻 壹帙
- 856 一 造東大寺司移 御執経抄 天平神護三年二月八日
同 十八枚
- 857 一 経巻納櫃目録 外題二大乘論云々天平十年二月
同 二十四枚
- 858 一 奉写経所解 申奉校経事
同 三十八枚
- (「校経」は紙片貼込により「経」を訂正)
- 859 一 校経生申解 宝龜三年十二月十八日 「上真継解巻首」
同 六十五枚
- 860 往来 一 花厳経請外島
同 六枚
P 85
- 第三十四号 七巻 八括 壹帙
- 861 一 大乘経并論疏名無宮目録并名在未写
『一』 壹巻 四枚
- 862 一 奉写章疏集伝目録
『二』 同 十一枚
- 863 一 写経目録 法花経疏以下 四枚
864 一 同上 大智経論以下 四枚
865 一 同上 花厳論以下 天平十六年十二月廿四日 壹枚
『三』(863)865にかかると
右三点巻括
- 866 一 未写経目録 「金剛般若波羅蜜経一卷/祇樹林」
『四』 壹巻 八枚

892 一 写経司啓 応請食料米等 「首大般若六百巻」

一枚

P 89 (途中まで)

893 一 奉還本経 天平十五年三月三日 「合三十五巻」

一枚

894 一 経目録 仏土厳浄経以下

一枚

右三点皆括

(「点」紙片貼込により「通」を訂正)

(895以降、次号に続く)